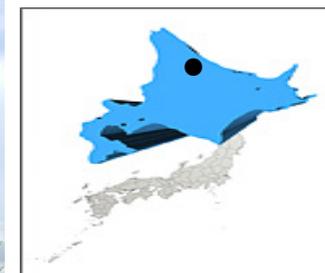


地域資源を生かす～環境モデル都市 下川の取組み～



2010年11月11日

北海道下川町

持続可能な循環型森林経営

人口:3,698人
 世帯数:1,833世帯
 (9月30日現在)
 面積:64,420ha
 (森林面積:57,929ha)



アイスキヤンドル



スキージャンプ



手延べめん



【大木伐採 (昭和10年頃)】

- 昭和28年 国有林を取得 1,221ha
- ★昭和29年 台風15号(洞爺丸台風)被害
- ★昭和35年 40~50haの伐採収穫の経営計画
- ★昭和56年10月 湿雪被害
- ★昭和55年から平成2年 国有分収林

- 平成6年~15年国有林取得 1,902ha
- ★町有林管理面積 4,470ha
 (人工林:2,890ha、天然林:1,580ha)
- ★町有林の蓄積 695千m³

- 毎年40~50haの植栽×60年の保育(理念)
 =3,000haの人工林
- 森林の継続的整備
- 資源循環
- 雇用の場確保/林産物安定供給供給

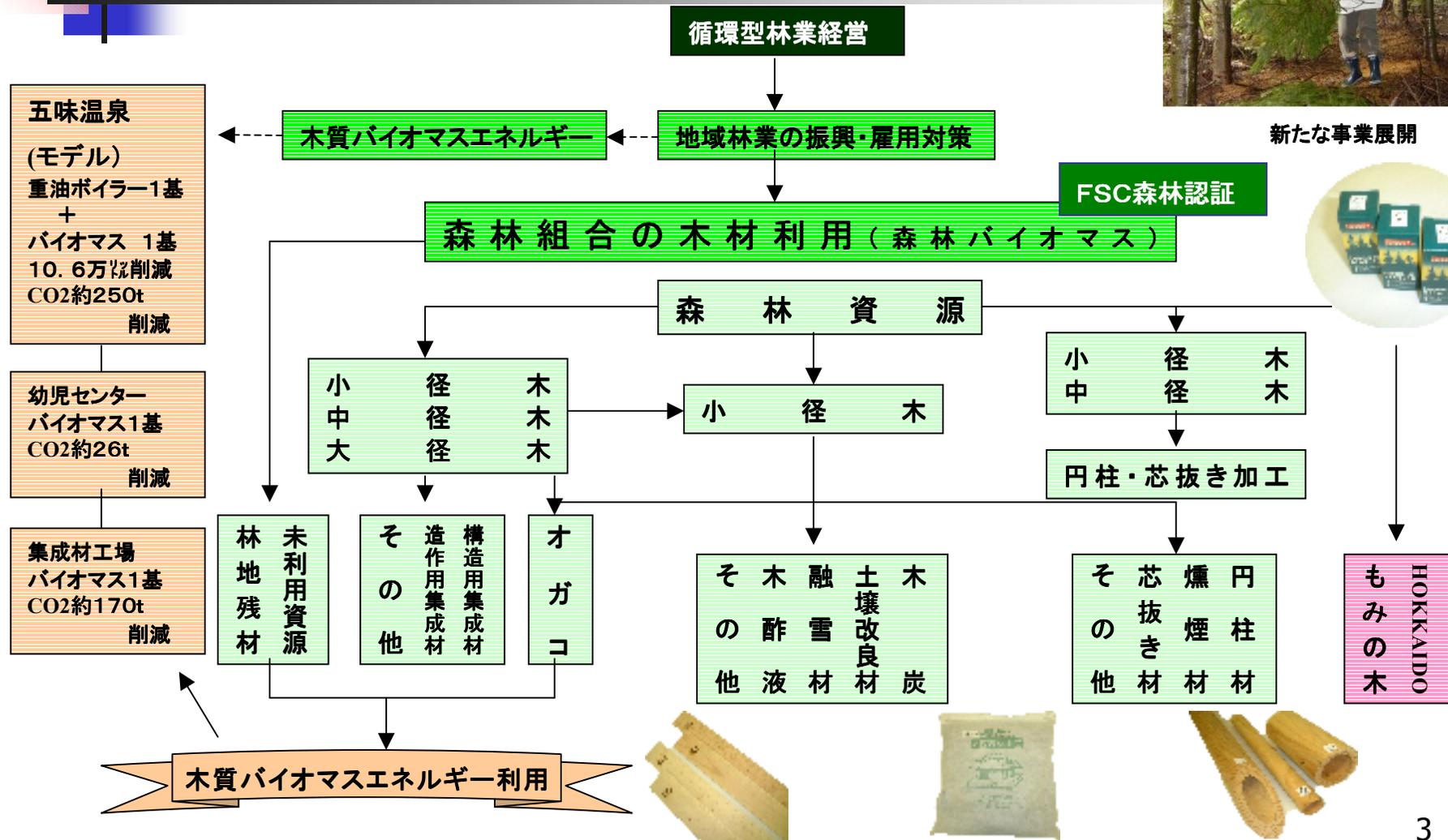


地域経済活性化のための基盤

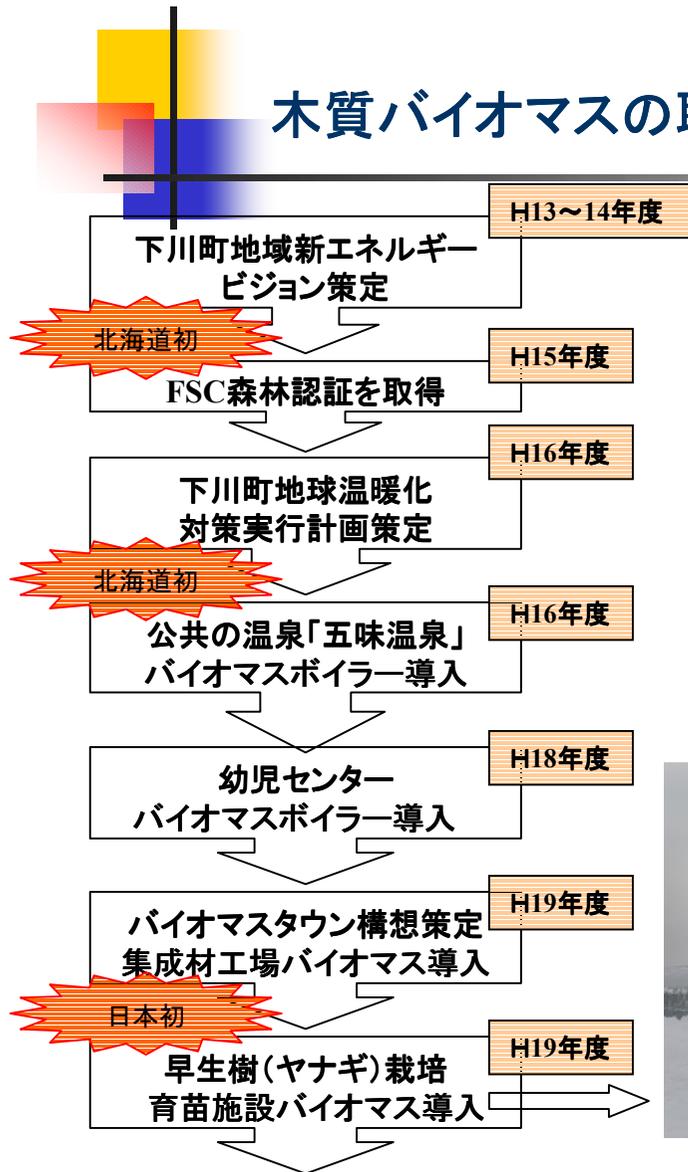


新たな事業展開

ゼロエミッションの木材加工



木質バイオマスの取組み



五味温泉木質ボイラー



幼児センター木質ボイラー



農業ハウス木質ボイラー
(2008.12)



「環境モデル都市」認定

第1次:横浜市・北九州市・富山市帯広市・**下川町**・水俣市
 第2次:京都市・堺市・飯田市・豊田市・宮古島市・梶原町・千代田区

農山村の美しい森林景観の保全・森林共生社会の形成

地域産業の振興

- 循環型森林経営の推進
- ヤナギ栽培林業推進と新たな産業創造・雇用の確保
- カーボンオフセットによる地域振興と温暖化対策
- バイオマスエネルギーによる地域熱供給システム導入
- 公共施設へのバイオマスボイラー導入
- ゼロカーボン住宅
- 森林バイオマス研究所設置

快適な生活環境

- マイバック運動
- 住民参画協働運動
- 二酸化炭素削減コンテスト
- 森林教育、地域間交流、森林体験等
- 民生部門での二酸化炭素削減
- 技術革新 等

地球温暖化対策・地域経済活性化

地域経営コスト削減

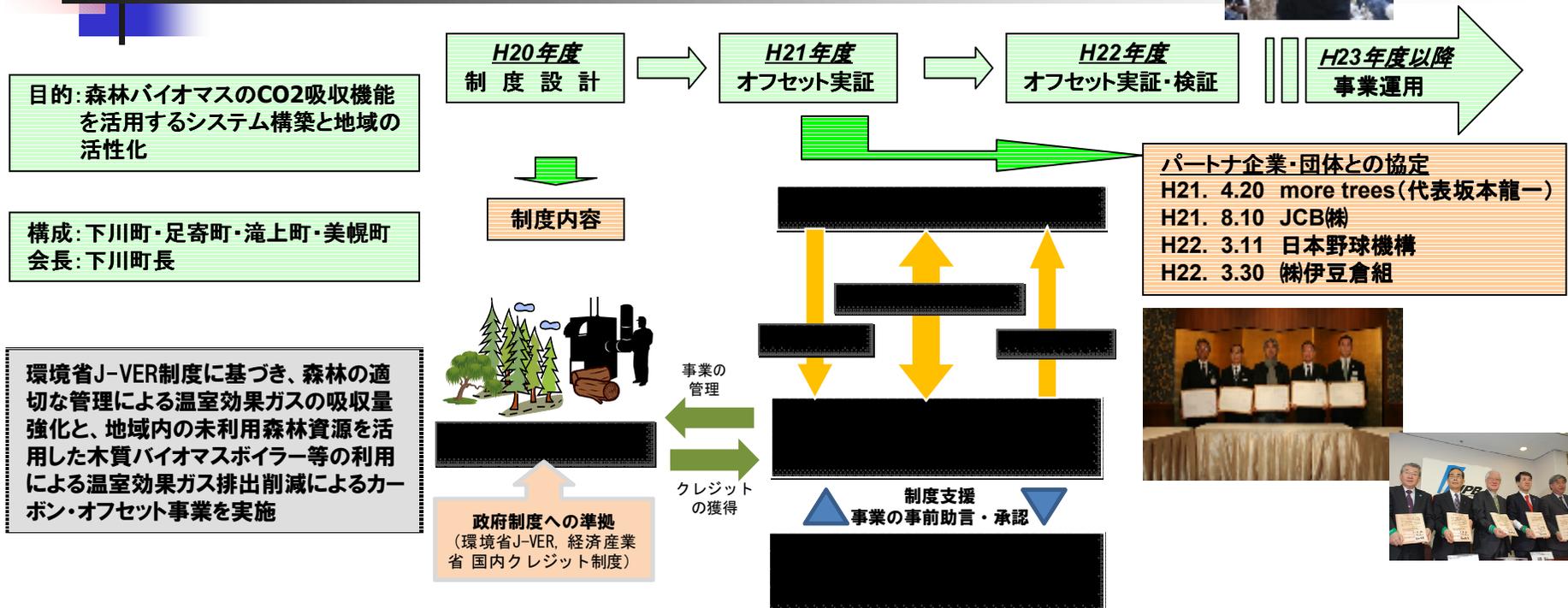


CO2排出量
 2020~30年
 32%減
 森林吸収量
 約3.8倍

CO2排出量
 2050年
 66%減
 森林吸収量
 約4.5倍



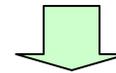
森林バイオマスのCO2吸収機能活かす活動 (カーボン・オフセット)



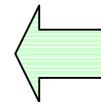
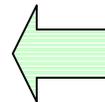
	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	合計
足寄町	1,344	1,710	2,290	2,777	3,125	11,248
下川町	887	1,341	2,302	2,672	2,819	10,023
滝上町	817	1,523	2,361	3,636	4,457	12,796
美幌町	323	543	942	997	856	3,664
合計	3,372	5,118	7,897	10,084	11,259	37,732

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	合計
足寄町		272	225	225	225	947
下川町	256	248	248	248	248	1,248
滝上町		210	287	287	287	1,071
美幌町			98	391	391	880
合計						4,146

早生樹「ヤナギ」栽培 ~ヤナギプロジェクト(循環型資源造成)~



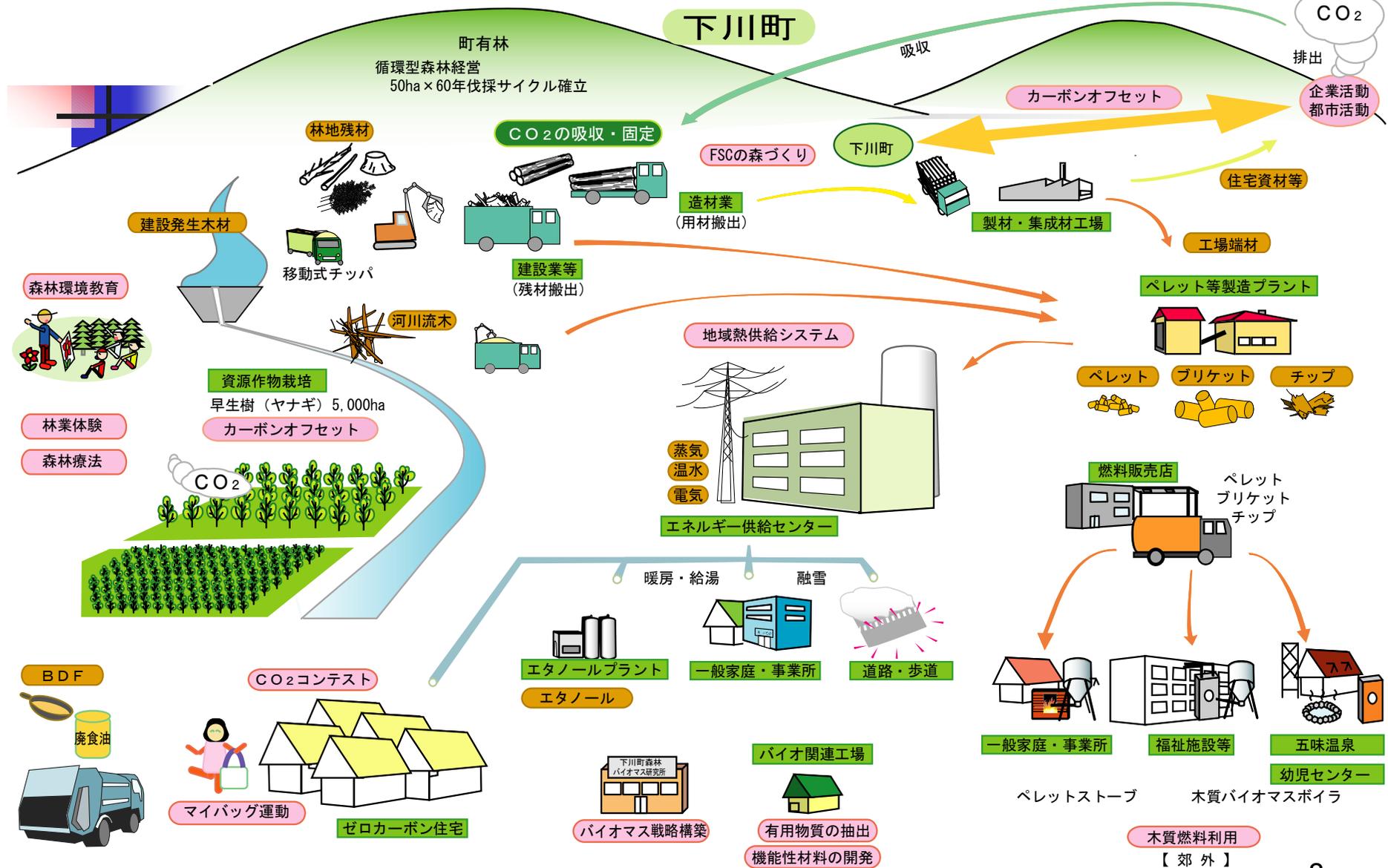
栽培林業



スウェーデンヤナギ収穫作業



環境モデル都市 — 次世代型「北の森林共生低炭素モデル社会」創造プロジェクト —



日本のモデル・世界の下川目指して

